



氷見の土地改良



第62号

発行所
氷見市達938
氷見市土地改良区
TEL (0766) 91-0083

水路事故にあわないための

5つの合言葉!

家族のみんなにも
教えてあげよう!

じ 「自分は大丈夫」との意識を改めよう!

こ 高齢者をはじめ、
家族みんなに声をかけよう!

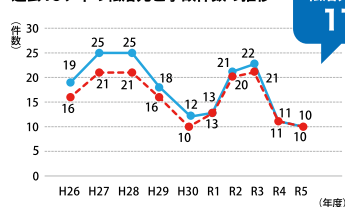
な なれた道でも水路沿いは注意しよう!

く 暗くなるほど危ないよ!

す 水路の管理作業は地域ぐるみで行おう!

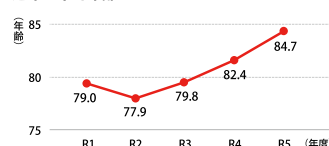
◆ 過去10年間の転落事故の状況 ◆

過去10ヶ年の転落死亡事故件数の推移



被害者の平均年齢が上昇しています

近年の平均年齢(R1~R5)



ごあいさつ



氷見市土地改良区
理事長
江添良春

「氷見の土地改良」第 62 号の発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

皆様には日頃より氷見市土地改良区の事業運営に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年は四年に一度の改選の年で、総代選挙と役員選挙が行われ、新たに総代九十名と理事二十一名・監事四名が選出されました。

これに伴い退任されました総代並びに理事・監事各位には、これまで土地改良事業の推進に絶大なるご尽力を賜りましたことに、この紙面をお借りし衷心より感謝申し上げます。

また、このたびは新役員の中から、私が再び理事長を拝命いたしました。

近年は、農業者の高齢化や農業用インフラの老朽化が進行するなど、農業を巡る環境はますます厳しくなっております。このような時に当たり、その責任の重大さを痛感するとともに、微力ではありますが、氷見市の農業農村の発展のために全力を傾注してまいりる所存であります。今後とも、総代並びに理事・監事はじめ関係の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、能登半島地震の発生から、およそ一年半が経過し、復興の槌音が市内の各所で聞かれるようになってまいりました。

思い起こしますと、このたびの震災では、多くの農業用施設や農地などに深刻な被害が発生しましたが、その直後から、春の田植えに間に合わせ

ようと農林水産省や富山県などの関係機関の職員の皆さんが、休日・昼夜を問わず、献身的に国営及び県営のパイプライン等の応急復旧工事に取り組みされました。

おかげをもちまして、令和六年四月二十六日には五位ダムから農業用水が供給され、秋には受益の農家の皆さんが、例年通り収穫期を迎えることができました。

その後、農林水産省北陸農政局では、昨年九月から国営パイプラインの本復旧工事に取り組み、このほど工事が完了いたしました。これに伴い五月二十二日に氷見市土地改良区の役員の参加のもと、その報告会を開催し、これで安心して米作りができる喜びを新たにいたしましたところであります。

今後は、地震で被害を受けた農地や末端の水路・農道などの復旧工事が本格化されることとなりますが、営農活動に支障なく円滑に進むよう氷見市との連携や地元との調整に最大限努力してまいります。

次に、国においては、このたび、新たな食料・農業・農村基本法の方向性に即して、農業生産の基盤の整備及び保全を的確に実施できるよう土地改良法の改正を行いました。その中では、基幹的な農業水利施設の更新を計画的に進めるため、国・県の発意による事業実施を可能にするなど、施策の基本的方向が示されており、当土地改良区といえども、その内容を今後の事業計画や予算に反映するなどして、本市の農業・農村の持続的発展を図ってまいりたいと考えております。

また、令和七年度の農林水産省が所管する農業農村整備事業関係予算については、当初予算が前年度から一億円増の四千四百六十四億円で、これに加えて防災・減災・国土強靱化や食糧安全保障対策などを盛り込んだ令和六年度補正予算に二千三十七億円を計上しており、総額で六千五百億円が確保されております。その中には、様々な新規の施策や従来の事業メニューの拡充策が示されており、氷見市土地改良区とし

ても、こうした農林水産省の方針に呼応し、本市の土地改良事業に有効活用してまいりたいと考えております。

次に今年度の氷見市土地改良区管内の土地改良事業について申し上げます。

老朽化が著しい十二町渇排水機場については、令和四年度から全面改修のための施設機能保全検討調査が行われてまいりました。今年三月の総代会では、調査を担当する北陸農政局西北陸土地改良調査管理事務所から事業計画の概要が示され、併せて、事業の実施について総代会としての議決をいただいたところであります。来年度以降のスケジュールとしては、令和八年度は実施設計へと移行し、令和九年度には工事に着手する予定であると伺っております。今後は、本事業が円滑に進められるよう富山県や氷見市と緊密に連携しながら農林水産省や関係の国会議員の皆さんに働きかけてまいりたいと考えております。

次に県営事業であります。農地整備事業が北八代、中村、栗原の三地区で施工され、防災減災事業のため池整備が、大浦地区の大浦大池など市内各所で実施される予定であります。いずれの事業も、農業の生産基盤を強化し、農業・農村の強靱化を図るうえで必要不可欠な事業であり、早期採択を待ち望んでいる地区が多くあることから、引き続き関係機関に対し強力に要望活動を続けてまいりたいと考えております。

このほか、県単独土地改良事業や維持管理適正化事業、区単独土地改良事業などについても、地元の皆様の要望に機動的に対応するとともに、積極的な実施に努めるなど、土地改良施設の適正な管理を通して地域農業の振興を図ってまいります。

皆様にはこれまで同様、当土地改良区の全般に亘りご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、組合員の皆様並びに関係各位のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



氷見市長

菊地 正寛

皆様方におかれましては、日頃から、農業の持続的発展と農村の振興、さらには市政の発展に格段のご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

また、昨年1月1日に発生いたしました能登半島地震から1年半が経過いたしましたのが、改めまして、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。氷見市土地改良区の組合員の皆様方におかれましては、震災からの復旧に向け、多大なるご尽力を賜っており、深く感謝申し上げます。

昨年度、応急復旧を実施していただきました国営幹線パイプライン（総延長27.1キロメートル）につきましては、国直轄により迅速な対応がなされ、田植え時期を前に市内全域に通水が可能となりました。

稲刈りが完了した9月からは、管路の浮き上がりや、蛇行などを本来の状態に戻すため

の本格的な復旧工事が進められ、令和7年3月末には復旧が完了し、管路の被災によって影響を受けた農地や道路につきましても、5月中にすべて復旧が完了いたしました。

田植えの時期を前に管路の本復旧が完了したことにつきましては、農林水産省をはじめ、富山県や土地改良区など、関係者の皆様方との力強い連携体制のもと、本市の農業振興に對しまして多大なるご支援を賜った結果であり、ここに深く感謝を申し上げます。

市内各地で被災したそのほかの農地や農業用施設につきましても、順次、復旧工事を発注しており、市内の農業者の皆様にも、安心して農業を営んでいただくことができるよう、国、県、関係機関などと連携し、一日も早い復旧に努めてまいりますので、引き続きご理解・ご協力のほどお願い申し上げます次第であります。

さて、昨今の農業や農村をめぐる情勢につきましましては、国際情勢の不安定化などを背景とした農業資材等の物価高騰をはじめ、農業従事者の減少や高齢化の進行、生産現場の人手不足、耕作放棄地の増加等が続いており、農業を取り巻く環境はますます厳しい状況に変化しつつあります。

このような中、国の農業農村整備事業関係予算の令和7年度当初予算につきましては、

前年度から1億円増の4,464億円に、防災・減災・国土強靱化対策等を含めた令和6年度補正予算を加えますと、6,500億円が確保され、市内各所において県営農地整備事業や県営農村地域防災減災事業などが展開されております。

市といたしましても、国営十二町渇排水機場の施設更新を行う国営かんがい排水事業「氷見地区」の整備促進や、県営は場整備の北八代外2地区、ため池整備の中村大池・粟屋池外4地区、基幹水利施設ストックマネジメントの五位2期などの事業促進と新規地区の採択について、震災からの復旧も見据えながら必要な土地改良事業が着実に実行されるよう国及び県に積極的に働きかけてまいります。

今後とも、本市の農業を支え、地域資源の保全などに取り組み氷見市土地改良区の皆様方のお力添えをいただき、本市の農業の持続的発展に向けて、全力で取り組んでまいります。

結びに、今後も本市の農業が確かな歩みを進め、農村にさらなる活気をもたらされることをご期待申し上げますとともに、氷見市土地改良区をはじめ、関係の皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

ごあいさつ



富山県高岡農林
振興センター所長
武内 政弘

氷見市土地改良区の組合員の皆様には、日頃から本県の農業・農村の振興にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

昨年元日に発生しました能登半島地震は富山県内で甚大な被害をもたらし、とりわけ氷見市内において農地やため池、農業水利施設などの土地改良施設に多くの被害が発生しました。その対応として被災箇所においては、災害復旧事業申請を行いつつ、昨年末ですべての査定を終えたところです。引き続き氷見市と連携し、本格的な復旧に取り組んでまいりますので、ご協力のほどお願いいたします。

さて、農業・農村を巡る状況は、長期化・頻発する国際紛争などに起因して肥料価格や電力料金が高騰し、農家や土地改良区運営にとって厳しい状況が続いております。こうし

た中、県の令和 7 年度農業農村整備事業関係予算は、当初予算 111 億円と令和 6 年度補正予算 80・2 億円を加えた合計 191・2 億円を確保しており、このうち、貴土地改良区管内においては、農業競争力強化を図るため、ほ場整備「中村地区」、「栗原地区」や土地改良総合整備「北八代地区」に取り組んでいます。また、豪雨や大規模地震に耐えられるよう、「中村大池・栗屋池」ほか 6 地区においてため池整備を実施し、強靱な県土づくりを着実に進めます。

農業生産においては、昨年も一昨年と同様に暑い日が続く、コシヒカリなど出穂後の登熟期間にとって大変厳しい気象条件となりましたが、一昨年の反省を踏まえ、追加穂肥や水管理の徹底など、生産者のご努力と関係機関が一体となった取り組みにより、令和 6 年度の氷見米のうるち米の一等比率は、県平均の 90・7 %（令和 7 年 3 月 31 現在）を上回る 92・9 %（令和 6 年 12 月末現在）と大変良好な結果となり、あらためて敬意を表す次第であります。

営農を取り巻く環境も、高齢化や人口減少による担い手不足に加え、資材価格の高騰、温暖化に伴う異常気象の発生など、様々な課題に直面していますが、意欲ある担い手が安

心して農業に取り組めるよう、収量・品質を確保するため「富富富」をはじめとした水稻の安定生産に加え、ハトムギや白ねぎなどの高収益作物の生産拡大、スマート農業の推進、担い手の経営基盤強化などにしっかりと支援してまいります。

今後とも、「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村形成」の実現を目指し、各種施策を推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、貴土地改良区の限らないご発展と、組合員の皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。





第53回 通常総代会の開催

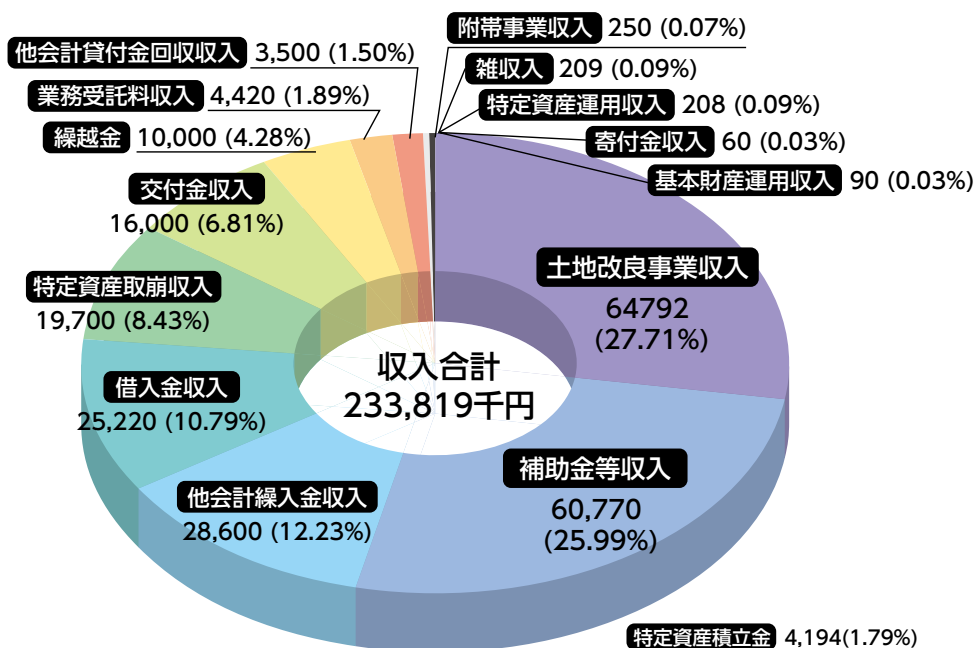
第53回通常総代会が去る令和7年3月14日(金)午後2時から氷見市農業会館4階ホールにおいて総代61名出席(24名書面議決)のもと開催されました。

会議に先立ち、江添良春理事長の挨拶に引き続き、池田勉富山県高岡農林振興センター指導課長、神代太氷見市建設部長の両氏からご祝辞をいただきました。

阿尾地区の山本喜久雄総代を議長に選出し、提出された令和7年度事業計画、同一般会計収支予算及び特別会計収支予算等の14議案については、何れも原案通り可決または承認されました。主な内容は下記のとおりです。

令和7年度 一般会計収支予算 (単位: 千円)

本年度	前年度	比較増減
233,819	366,919	△133,100



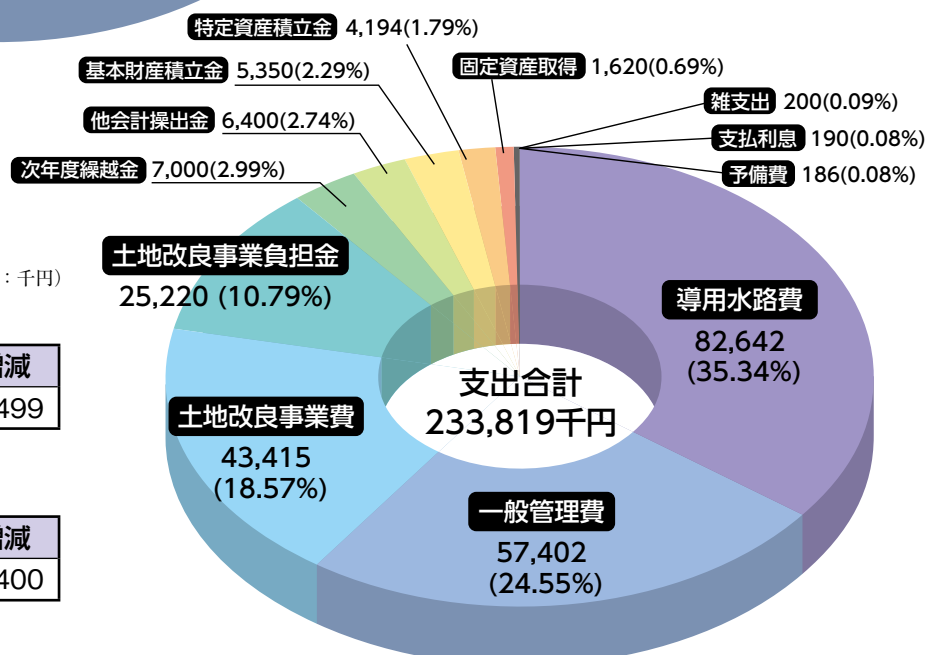
令和7年度 特別会計収支予算 (単位: 千円)

小水力発電事業特別会計

本年度	前年度	比較増減
52,500	51,001	△ 1,499

十二町潟沿岸管理区特別会計

本年度	前年度	比較増減
79,000	94,400	△ 15,400





令和 6 年度 第 1 回臨時総代会の開催

令和 6 年 10 月 25 日（金）午後 2 時から、令和 6 年度第 1 回臨時総代会が氷見市農業会館 4 階ホールにて総代 58 名出席（26 名書面議決）のもと開催されました。当日は、公務ご多忙の折にも拘わらず、武内政弘富山県高岡農林振興センター所長、池田勉富山県高岡農林振興センター指導課長、林孝浩氷見市ふるさと整備課長、長谷慎一朗氷見市ふるさと整備課主査のご臨席を賜りました。

会議に先立ち、江添氷見市土地改良区理事長の挨拶の後、武内所長、林課長からご祝辞をいただきました。出席総代の中から窪地区の屋鋪善史総代を議長に選出し、令和 5 年度事業報告及び同一一般会計収支決算等の 4 議案と 1 つの報告事項につ

いては、何れも原案通り可決されました。主要内容は次のとおりです。また、同日開催の役員補欠選挙では、熊無地区から無投票で山下孝三理事が当選されました。その後、長瀬潔理事長職務代理の閉会の挨拶があり午後 3 時に閉会となりました。

令和 5 年度 一般会計収支決算

●収入

(単位：円)

款	決算額	予算額	比較増減
1 土地改良事業収入	70,942,280	73,286,000	△ 2,343,720
2 附帯事業収入	193,542	230,000	△ 36,458
3 基本財産運用収入	75,838	40,000	35,838
4 特定資産運用収入	187,918	203,000	△ 15,082
5 補助金等収入	104,951,000	142,040,000	△ 37,089,000
6 交付金収入	47,600,000	47,600,000	0
7 寄付金収入	341,368	60,000	281,368
8 業務受託料収入	8,758,800	9,330,000	△ 571,200
9 雑収入	1,110,832	209,000	901,832
10 借入金収入	15,600,000	23,400,000	△ 7,800,000
11 特定資産取崩収入	3,691,908	7,750,000	△ 4,058,092
12 他会計貸付金回収収入	3,500,000	7,250,000	△ 3,750,000
13 他会計繰入金収入	25,500,000	28,500,000	△ 3,000,000
14 繰越金	20,301,756	20,710,000	△ 408,244
収入合計	302,755,242	360,608,000	△ 57,852,758

基本財産

事業積立金

139,554,904円

特定資産

国・県営かんがい排水事業積立資産	3,342,644円
転用決済金積立資産	156,339,853円
役員退任慰労積立金積立資産	5,017,182円
職員退職給与引当積立資産	40,945,624円
国・県営灌漑排水事業維持管理積立資産	448,784,382円
国・県営灌漑排水事業維持管理修繕費積立資産	20,217,643円

●支出

(単位：円)

款	決算額	予算額	比較増減
1 導用水路費	91,630,504	94,801,000	△ 3,170,496
2 土地改良事業費	94,297,626	111,156,000	△ 16,858,374
3 一般管理費	28,400,135	37,282,000	△ 8,881,865
4 合併推進費	3,862,379	34,000,000	△ 30,137,621
5 土地改良事業負担金	15,507,079	23,700,000	△ 8,192,921
6 借入金返済	23,353,746	23,500,000	△ 146,254
7 支払利息	74,782	170,000	△ 95,218
8 固定資産取得	947,400	1,000,000	△ 52,600
9 還付金	2,595,396	4,810,000	△ 2,214,604
10 基本財産積立金	14,615,838	10,399,000	4,216,838
11 特定資産積立金	11,525	4,086,000	△ 4,074,475
12 雑支出	37,328	200,000	△ 162,672
13 他会計繰出金	5,473,484	6,200,000	△ 726,516
14 次年度繰越金	21,948,020	9,100,000	12,848,020
15 予備費	0	204,000	△ 204,000
支出合計	302,755,242	360,608,000	△ 57,852,758

令和 5 年度特別会計収支決算 小水力発電事業特別会計

(単位：円)

予算額	収入総額	支出総額	次年度繰越金
52,001,000	42,034,388	41,843,957	190,431

十二町潟沿岸管理区特別会計

(単位：円)

予算額	収入総額	支出総額	次年度繰越金
68,050,000	65,759,769	60,083,296	5,676,473
特定資産			
十二町潟沿岸管理区転用決済金積立資産			23,085,460円
十二町潟沿岸管理区維持管理積立資産			17,599,981円

氷見市土地改良協会

通常総会、研修会の開催

氷見市と市内3土地改良区、34の工区及び自治会で組織する氷見市土地改良協会第60回通常総会は、去る5月30日（金）午後1時から氷見市土地改良区2階会議室において開催されました。

提出された令和7年度事業計画並びに同一般会計収支予算等の4議案については、何れも原案とおり可決または承認されました。

また、同日には会員の体質強化、スキルアップを目的とした研修会を開催し、国営農地再編事業「水橋地区」にて高収益作物生産への取り組み、スマート農業導入等についての先進地視察研修を行いました。その後行われた情報交換会では、各地区の抱える課題や取

り組みについて

活発な議論が交わされました。

氷見市土地改良協会では随時会員を募集しています。先進事例等の研修会を開催し土地改良事業の推進を目的としています。詳細は事務局91-0083までお問い合わせください。

令和7年度一般会計収支予算

（単位：千円）

本年度	前年度	比較増減
6,160	6,114	46

高岡土地改良協議会長賞表彰

西条畑地かんがい土地改良区 理事 西川 征雄氏

平成26年の理事就任以来、土地改良区運営や施設の維持管理に尽力されています。特に、漏水事故発生時には工事担当理事として昼夜問わず関係機関等との調整に強い責任感を持って対応されました。

富山県農業振興賞 全国米麦改良協会会長賞

農事組合法人島尾営農組合 組合長 堀井 重則氏

農地の区画整理やスマート農業による農業経営の効率化に取り組んでいること、また、島尾自治振興会と連携し農地の整備を行い、4年間で約2haの荒廃農地解消を進めるなど農村環境の改善に努められています。

とやま水土里賞

稲積工区委員会

宇城 敏昭氏

長年にわたり、余川川頭首工の実務担当者として水門操作、点検、塵芥除去等の維持管理を強い責任感を持って務められています。また、稲積工区委員会副工区長歴任時には、事業の地元調整など土地改良事業の推進に大きく寄与されました。

十二町潟沿岸管理区第43回代議員会の開催

令和7年3月5日（水）午後2時から氷見市農業会館4階ホールにおいて十二町潟沿岸管理区第43回代議員会が代議員30名出席（書面議決14名）のもと開催されました。栗原地区の扇原聡代議員を議長に選出し、提出された令和5年度事業報告及び同特別会計収支決算等の8議案は何れも原案のとおり可決又は承認されました。



新たな総代及び 役員が選出されました

任期満了に伴う総代選挙はいずれの選挙区も立候補者数と定足数が同数であったため、無投票当選で新たな総代が決定しました。新任 35 名、再任 55 名で任期は令和 7 年 3 月 9 日から向こう 4 年間です。

また、任期満了に伴う役員総選挙においても、立候補者数が定足数と同数であったため選挙は行われず、新たに理事 21 名、監事 4 名が無投票で当選されました。任期は令和 7 年 3 月 31 日から向こう 4 年間です。3 月 19 日（水）には組織役員会が開催され、理事長には江添良春理事、常務理事には桶元勝範理事、総括監事には鎌仲正寿監事がそれぞれ選任されました。

新総代名簿

第 7 (上庄)							第 6 (十二町)					第 5 (布勢)			第 4 (仏生寺)				第 3 (神代)			第 2 (窪)				第 1 (宮田)				選挙区					
鎌仲 博仁	干場 昭雄	向 悟司	橋本 正義	越田 宗彦	長 秀雄	新井 豊	坂下 見秋	谷内 健一	谷口 健郎	堀川 健志	山本 克博	太田 利光	山田 和重	草山 満	川端 衛	山本 富美夫	六田 敏夫	蓮間 貢	曾根 桐昇	中筋 芳和	藏 康裕	吉川 健治	北 雅昭	中本 範夫	屋鋪 善史	田中 賢次	田中 邦昭	西川 雅秋	伊藤 昌毅	酒井 久雄	中村 岳晴	中田 敏則	西井 優	新井 芳夫	氏名
					再	再	再	再							再	再	再		再	再	再	再	再	再	再	再	再					再	再	備考	

第 14 (基石)					第 13 (余川)			第12 (稲積)		第 11 (加納)				第 10 (久目)					第 9 (速川)				第 8 (熊無)				選挙区						
大江	松森	松井	川口	森	小清水	山口	西木	浜出	竹越	水野	杉森	川上	川上	竹岸	寺田	島	水上	河原	林	川崎	盛藤	布子	多地	吉村	佐原	坂本	坂	戸谷	清水	山崎	川江	西田	氏名
伸一	清一	清春	美奈雄	清人	秋好	幸雄	康雄	吉則	一宏	勝昭	秀行	賢智	悦男	克則	博文	久雄	尚司	良昭	啓二	一志	清丸	勇美	博	暁	努	春樹	清	恭平	英行	栄生	勝伸	健二	
再	再	再	再	再									再		再		再	再		再		再	再	再	再	再		再					備考

第 19 (女良)					第 18 (宇波)					第17 (藪田)		第 16 (阿尾)				第 15 (八代)				選挙区		
庄谷	西村	森	福田	吉田	清水	関	森本	大谷内	土平	石崎	竹内	大石	上河原	向	高島	大澤	山本喜久雄	中井	川高	水瀬	岩上	氏名
弘明	美則	久志	義雄	外二	雅明	博明	康博	大谷内博明	千秋	榮	正治	泰浩	大盛	典夫	稔	昌弘	久雄	勲	清義	泰生	茂	
	再	再		再	再		再	再	再	再	再	再		再	再	再	再	再	再	再	再	備考

新役員名簿

役職名		理事長	理事長職務代理	理事長職務代理	常務理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	氏名	
監事	監事	総括監事職務代理	鎌仲 正寿	中 勇治	北山 勝志	川邊 利成	鎌仲 光男	舟金 敏明	宝住 与一	田中 勉	大石 哲一	山下 孝三	根山 仁志	干越 教司	安居 正美	谷口 泰一	嶋田義一郎	田中 昭一	坂本 繁雄	向 教一	桶元 勝範	松波 孝之	長瀬 潔	江添 良春	
喜多 栄作	新井 郁夫	川辺 孝博																							

職員募集のお知らせ

採用の予定
来春卒業予定の方は
令和 8 年 4 月 1 日。

既に卒業されている方は、繰り上げて採用も可とします。

募集職種・人数等

採用予定人数 1名

職 務 内 容 土地改良施設の整備・維持管理に関する企画・現場調査・事務 等

応募資格

- 平成 7 年 4 月 2 日以降に生まれ、高校卒業以上または卒業見込みの方。
学部・学科は問いません。
- 普通自動車運転免許（ただし、AT 限定は採用決定後、限定解除により可）
- Word、Excel 等パソコン基本操作。
- 男女を問わず未経験の方から広く募集しています。

応募方法

申 込 方 法 ハローワーク紹介状、自筆履歴書、卒業（見込）証明書、職務経歴書（該当の場合）を土地改良区へ持参または簡易書留にて郵送してください。

受 付 期 間 随時

問い合わせ先 〒935-0024 氷見市窪 938 番地
氷見市土地改良区 職員採用担当（電話番号：0766-91-0083）
E-mail:h-dokai3@p1.cnh.ne.jp

選考方法・日程

選 考 方 法 面接試験

日 程 日程が決まり次第、お知らせします。

備 考 合否とも通知します。

その他の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

組合員の皆様へ

賦課金について

種 類	単 価	納 期
経常賦課金（氷見市内の田）	1,000円/10a（ほ場整備実施済の田）	11月末日
国・県営かんがい排水事業維持管理賦課金 （五位ダムからの用水受益）	2,000円/10a	6月末日
十二町潟沿岸管理区維持管理賦課金 （十二町潟排水機場の受益）	1級地 3,200円/10a 2級地 300円/10a	1期：5月末日 2期：8月末日

賦課金に関するお問い合わせは、管理課賦課係 ☎91-0083 までお願いいたします。
納期が休日の場合は、金融機関の翌営業日となります。

賦課金納付について

- ① 口座振替は氷見市農協のみの対応になっております。
- ② 納付期限が口座振替日となります。
- ③ 氷見市農協窓口で納入する場合手数料は必要ありませんが、他金融機関から振り込みされる場合には手数料は組合員様のご負担となります。
- ④ 利用権が設定されている田であっても賦課金は原則所有者の負担となります。
利用権設定をして耕作者が賦課金を支払う場合には、届出が必要となりますので当改良区まで連絡をお願いいたします。

農地を転用する際は

- 農地を農業以外の目的に使用するときには農地転用の手続きを行い、受益から除外する必要があります。
※無断転用は農地法により罰せられます。
- 転用予定地が国・県営かんがい排水事業の受益地であるときは、転用決済金を納付する義務があります。
（土地改良法第42条第2項）
- 転用決済金の金額につきましては、地区により異なる場合がありますので土地改良区までお問い合わせください。
- 手続きが無い限り土地台帳から除外できませんので、従来どおり賦課されることとなります。

公共事業（道路、公園、河川、建物等）の用地として転用される際にも上記の手続きが必要となりますので、事業主と十分話し合い、手続きに疑義が生じないようお願いいたします。

決済金とは？

農地を転用することで、残存農地の組合員に対して負担が増えないようにするためのお金です。

補給水の使用期間

国・県営かんがい排水事業の補給水（五位ダムからの用水）の使用期間は、水利権により毎年4月26日から9月5日までと定められています。期間外での使用はできません。
施設の不具合、漏水、空気弁からの溢水等を発見されたときは、業務課（91-0083）までご連絡ください。

こんな時には、必ず届出をしてください。

- 組合員が死去された場合
- 農地を売買・贈与・交換・相続・耕作の移動等をした場合
- 農業者年金受給のため経営移譲した場合
- 住所や組合員名を変更した場合
- 公共事業等で田が用地買収される場合
- 農地転用する場合 等

届出用紙は
事務局にあります

申請書類はホームページからも
ダウンロードできます。

水土里ネット氷見 検索